

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズあみー塚口		
○保護者評価実施期間	2025年 1月14日 ～ 2025年 2月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 2月12日 ～ 2025年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育室として活動している部屋に1台ピアノを設置している。 最初の全体の挨拶はピアノからはじまります。三階に100冊以上の本を置いているので読書ができます。又、映像関係もできます。屋上にはプールを設置しています。	音楽療法ができる職員（数名）が在職しているので、必要な楽器を取り揃えています。又ひとり一人が安心して落ち着ける空間に配慮しています。子ども・親のニーズを把握し、適切な指導を展開している。	休暇後の個々の子どもの分析が必要です。
2	特に資格のある職員を確保している。 資格のある職員で、時には発達検査をしていない児童に対応しているので、事業所内でその資格がとれます。全職員で活動プログラムの立案をしています。	発達検査を行う事により、子どもの現状を保護者より聞き取れる事が出来る。特にアレルギー面を知る事が大切であると考えている。言語聴覚士・作業療法士・資格のある職員を採用している。時には、送り迎えが自動車である場合慎重な運転が出来る方を望んでいます。職員とのコミュニケーションを大切にプログラムを作成しています。	特に言語聴覚士からの言葉への療育や子どもの機能訓練の方法をさらに職員に見につけさせたい必要性があります。
3	幼稚園、保育園、こども園に通いながら利用できる。	各幼稚園、保育園、こども園に通いながら、1～2時間ほど中抜けして療育をうけられるように送迎サービスを行っています。(送迎ができない保護者様も安心されています)	園長・担当者と連携していることが大切です。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育室が2階である事。	1階で療育できる物件を探している	近隣で条件があった物件を探している
2	もう少し広い場所。部屋数が必要かも知れない	広い物件への移動を常に見ている	近隣で条件があった物件を探している
3			